



THE ROTARY CLUB OF KUSHIRO WEST 2010~2011(平成22年~23年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和45(1970)年6月8日 承認 昭和45(1970)年6月10日

2010~2011 RI テーマ 「地域を育み、大陸をつなぐ」

《本日のプログラム》3月28日 12:30

普通例会

会員卓話「国際交換留学生について」

《次回のプログラム》4月4日 12:30

普通例会

「ロータリーの友を通じて」

《例会日:毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場:釧路全日空ホテル 釧路市錦町3-7》

会長 石川 俊二 幹事 三木 克敏

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

2011年3月28日(月) 第30回 通算1913回

【点鐘】 石川会長

【ロータリーソング斉唱】 「四つのテスト」 ソングリーダー:山本会員

【会長挨拶】 石川会長



本3月11日の東北関東大震災発生より18日目をむかえましたが、昨日の発表では、死者と行方不明者を含めると27,110人に達したということでもあります。のうち行方不明者が16,621人ということですが、何人かでもどこかで生命をつないで生きて見つけてほしいものであります。もうすでに、企業や個人で献金をされた方も多数いらっしゃると思いますが、ロータリーにつきましては、これからスタートするわけですが皆さまのご協力のほどお願いいたしたく存じます。

私たちは普段当たり前で生活していることが、今回の被災者の方々を報道で見る限り、何と恵まれているのかと思ひ知らされた感があります。原発に至りましては、未だ収まりをみせなく、科学の力で作ったものが科学の力でコントロールできないという、水をかけることしか手段を持たないことに、科学の落とし穴を感じさせられた気がします。私たちロータリアンは、この災害を機に何ができるか考えなければ、ならないと思ひます。

3月19日に臨時・会長幹事会が開催されました。ガバナー及びアシスタントガバナーのIMに対する考えについてのコメントを討議したわけですが、規模は小規模でもいいのでIMは実行してほしいということでしたが、区内8クラブがそれぞれ縮小開催・完全中止の意見に分かれたため、各クラブへ持ち帰り、結果を提出してもらうこととなりました。

【幹事報告】 三木幹事



- ・ ガバナー事務所より震災義援金ご協力のお願いが届いております。
- ・ ガバナー事務所より支援物資に関する協力のお願いが届いております。
- ・ 4月ロータリーレート 1ドル=80円
- ・ 米山記念館より館報が届いております。

【委員会報告】

○例会運営委員会 佐久間委員長

4月プログラムのご案内

○広報委員会 八村委員長

ロータリーの友3月号のご紹介

○親睦委員会 山本委員長

「ニコニコ献金内訳」

☆本人誕生 高木会員、加納会員

☆その他 佐藤和会員(娘さん進学)

【本日のプログラム】 担当 国際奉仕

●会員卓話 「国際青少年交換留学生について」

《井岸会員》



今まで当クラブで、5名ほど派遣・受入れをしています。今から 35 年位前に一番目のマーシャ・アンダーソンさんと平山敦子さんがアメリカで、1976 年に当クラブが初めて派遣・受入れを始めました。その後、1985 年にはアメリカのリンダ・スミスさんと沼田千恵子さんの交換が行われております。3人目は 1990 年ポーラ・フリーさんと村田志穂さんが、その後 1993 年にオーストラリアのサニー・マカラさんと木幡舞さんです。沼田千恵子さんと木幡舞さんは当クラブのメンバーでした。翌年 1994 年には、オーストラリアのアニア・シビッキーさんと佐藤貴之さんでした。

当時、5 年毎に行った方が良いというご意見もありましたが、当時は 60 人近くいるメンバーでしたので可能だったと思います。現在、受入れの場合、地区より 70 万程いただいております。年間約 120 万円かかりますので、ホストクラブの持出しが 50 万位になります。今の当クラブの規模ではちょっと無理かなと思います。

地区の青少年交換委員長から派遣・受入れについての要請があり、派遣・受入れが決まりましたら書類関係で申請書(アプリケーション)を用意します。本来は見本となる青少年交換の資料として、私と石川会長とで一つの分厚いファイルにしたものが残っているはずなのですが、紛失されたものと思います。地区の方から申請書・保証書等が届きます。決まりましたら受入れ高校との打合せ・ホームステイ先との打合せです。ホームステイ先は大体 3 ヶ所で行ってお

りました。そして、交換については必ずカウンセラーをつけなくてはなりません。もし私共が受けたとするならば、委員会であることがございます。それは、入国管理事務所の外国人登録でございます。あとは市役所で国民健康保険等の手続きがあります。先ほど、学生に120万かかると申し上げましたが、学校の教材や運動着等も含まれております。当然、修学旅行の費用もその中に含まれております。受入れも派遣も同じような書類が必要となります。クラブで用意するものは名刺などです。そして、親の負担につきましては、往復の旅費・保険料等が含まれます。現在、2500地区で行っているのが、ドイツより紋別ロータリークラブ、アメリカより旭川東クラブです。

あと、指名地区の関係ですが、一回につき160万円位かかります。なぜそんなにかかるとかという、大体、学生約10名と随行員2名です。随行員はホテル泊まりで、あとはホストファミリーをお願いします。主なものはバス代・歓送迎会・ホームステイ等、韓国の場合は25,000円、長期の場合は35,000円と記憶しております。今年度は、ライラ含めて青少年交換・インター全て中止になっております。これが継続できるのかガバナーの年度によって違ってきますが、このように進んで参ります。あとは、石川会長にバトンタッチ致します。

《石川会長》



本日のプログラムの主旨は、新しい会員のために、交換留学生の内容がわからないので勉強のためにも実施したほうが良いとのことでしたが、本日の出席者はベテランの方が多く新しい会員が少ないのは残念です。私が国際青少年交換委員長を担当したのは、1993年、平成5年1月にオーストラリアから来銚した、サリー・マカラと1994年、平成7年1月に同じくオーストラリアから来銚した、アーニア・シビッキのトータルで3年にわたる任期でした。ここに、サリーからごく最近メールが届きまして、内容を読み上げます。「お久しぶりです！メール有難う。受けてうれしかったです。

家族のみんな元気ですか？最近何をしていますか。ロータリークラブの会長をしていて忙しいでしょう。私が居たときのメンバーがまだ何人居るかしら？銚路に行ってから18年もたつて、信じられませんね。たくさんいい思い出があって、すごくいい経験でした。いろいろお世話になってありがとうね。今、ロンドンに住んでいて、ドイツ銀行グループで働いています。ロンドンに来てから、もう5年がたちました。もちろん仕事は忙しいけど、できるだけ休みの時にはあちこち旅行しています。サリーより」

交換の準備は、アプリケーションという書類を提出するわけですが、そのメ切が10月中くらいですので、交換を実施する表明は8月位にはしなければなりません。年度がスタートしたらすぐですので、前年度からの計画が必要になってきます。年間の直接的な経費だけで一人に100万円くらいの金額がかかります。内訳は回覧中の書類にも書いてありますが、ホームステイ先のお礼、お小遣い・通学定期代・健康保険料・あとは、制服代・修学旅行費などです。地区からおよそ70万円くらいの補助が出ますがクラブとしての持ち出しは30万円くらいですが、金額の出でこない、ホストファミリーの個人負担ですとか、会員の個人負担などがあります。時間が参りましたので、この辺で終わらせていただきます。

《例会運営委員会 佐久間 委員長》

3月28日	在籍数	31名	出席免除者	6名	出席義務者	25名	「編集：櫻田会員」
名誉会員	1名		出席者	18名	欠席者	13名	出席率 58.1%
3月14日修正出席率 64.5%							

会報委員長：	櫻田 美香	副委員長：	斎藤 静枝
委員：	加藤 精二 八村 弘英	佐藤 雅之	小泉 和史